

平成23年度情報部活動報告

南北海道情報教育研究会
情報部長 本谷 聡

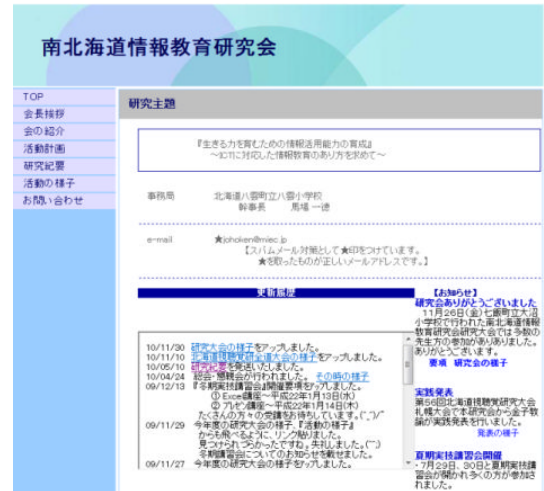
情報部活動報告

(1) ホームページの管理

当研究会のホームページ（右写真参照）
トップページ <http://miec.jp/>である。本ページでは、本研究会の活動予定、及び活動内容を掲載してきた。研修会の案内や申し込み、会の活動の広報として、また、過去の研究紀要の書庫として平成14年から運用されてきた。今年で9年目の運用となり、その情報量も豊富である。本年度は総会、夏期研修会のお知らせ、そして研究紀要をアップしている。

(2) メーリングリストの管理

役員会、例会などの集まって行う会議の他、会議の案内や出欠報告など、電話やファックスに代わってメーリングリストによって連絡を取り合ってきた。このシステムを利用することにより、全ての役員が会の動きを把握することができ、会としては連絡手段として定着している。



(3) 広報誌インターフェイスの発行

本年度は、会の広報「インターフェイス」を発行できなかった。会の活動はホームページで随時報告しているが、ホームページと並行して、紙面による広報活動も大切にしていきたい。

(4) 情報モラル教育の啓発と発信

情報モラル教育に役立てるための情報発信などを行う予定だったが、情報モラルの在り方や、問題の移り変わりの速度が激しく、なかなか会としての方向性を出せないでいる。情報モラル教育が年々低学年で必要とされているため、何とかして会としての方向性を持たせたいと思う。

(5) 技術サポートの窓口

校内 LAN の発達に伴うネットワークトラブルやソフトウェアなどの使い方など、先生方のコンピュータに関わる窓口として相談を受けている。主に講習会の後などに、相談を持ちかけられることが多く、情報部に限らず、対応できる会員が積極的にかかわり、問題の解決に当たって成果を上げている。

(6) 研究紀要 web 化と紀要 CD-ROM の作成

研究紀要の制作については、本年度も CD-ROM 版と web 版の 2 本立てで行っている。一般の方々には web 版のテキストや研究文献を見て会員になることをおすすめしたい。なぜなら、会員には CD-ROM 版でのみ、印刷や引用ができるからである。また、web 版、CD-ROM 版とも、数年かけて同じ様式で作成することにより、制作者の負担も減ってきている。

(6) 活動のまとめ

以上のように、情報部は、情報提供、技術サポートを主な業務としている。広報の活発な活動、ホームページのきめ細かい提供などまだまだ課題は多い。特に web については、ブログ、ツイッター facebook と情報を発信する媒体が多種になってきており、インターネット上に情報を載せさえすればよい時代ではなくなっている。今後の広報の在り方と会の進むべきについて、考える時代になってきているのかもしれない。次年度についても、今年度の流れをくみながらも、変化に対応できる情報部でありたいと考えている。